

《 体験から
気づき 》

みんなで学んで守ろう！

「自然観察隊」参加者募集

国営ひたち海浜公園には、樹林地や湧水地、砂丘など、多様な自然環境と生態系が残されており、それらを保全する取り組みが進められています。これらの貴重な自然を知っていただくきっかけづくりとして、参加型プログラム「みんなで学んで守ろう自然観察隊」を年間を通して開催しています。季節毎に様々なテーマを設定し、晩秋には「松ぼっくりさがし」と「クレソン除去作戦」を実施。どなたでもご参加いただけ、当公園の特徴的な自然に触れ、その大切さを学ぶことができます。



松ぼっくりさがし (2018年11月11日撮影)



クレソン除去作戦 (2018年8月19日撮影)

◆絶滅危惧種を救う？「松ぼっくりさがし」

秋の「ひたちなか自然の森」を散策し、松ぼっくりを採取します。ひたちなか自然の森には、環境省レッドデータブックで準絶滅危惧に指定されている希少な植物「オオウメガサソウ」が自生。日当たりの良いアカマツ林の林床に生育する常緑低木で、本公園が日本の自生南限地とされています。本プログラムでは、オオウメガサソウの生育環境を学ぶと共に、衰退傾向にあるマツの再生を目指し、苗づくりのための松ぼっくり(種子)を収集します。

開催日:11月10日(日) 時間:10:30~12:00 申込:事前申込(TEL:029-265-9001) 定員:20名
参加費:無料 場所:ひたちなか自然の森 受付:西口広場休憩所 雨天:中止



オオウメガサソウ (2019年6月13日撮影)

◆外来種、全部抜く！「クレソン除去作戦」

沢田湧水地にて、クレソンの抜取りを実施します。沢田湧水地は、海浜部の渓谷内にあり、湧水が湿地を形成。湧水地には、多様な水生・湿地性の植物や動物の生育環境が造り出され、オゼイトトンボなどの貴重な動植物も生息しています。一方で、外来種のクレソンが源頭部・流水域に繁茂し、在来植生への影響が懸念されています。クレソン(オランダガラシ)は、食用・薬用として1870年頃に渡来・栽培されたものが逸出し、現在では日本全国に広く分布。本プログラムでは、クレソンの抜取りにより、セリなどの在来植生の回復と、トンボ等の生息環境の保全を目指します。

開催日:11月17日(日) 時間:10:00~11:30 申込:当日受付 定員:30名
参加費:無料 場所:沢田湧水地 受付:ネイチャーハウス 雨天:中止
持ち物:長靴 協力:茨城生物の会、沢田湧水地パートナー



クレソン (2019年11月4日撮影)

Information

11/5(火)にコキアの抜取りが完了し、
ネモフィラに向けての準備に入りました。

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 尾澤・星
TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4 <https://hitachikaihin.jp/>